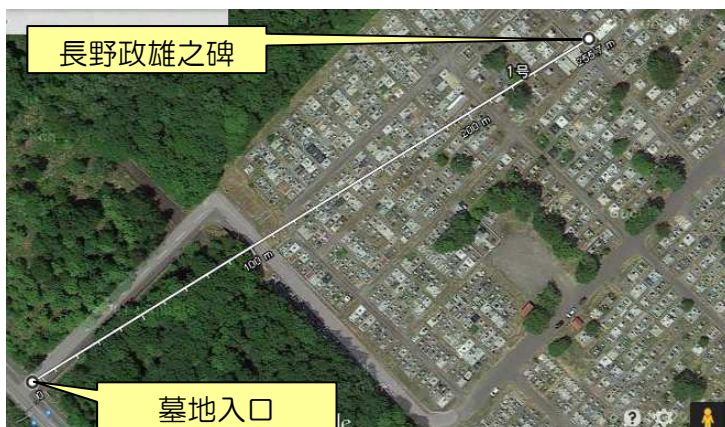


## 【長野政雄さんのお墓「長野政雄之碑」】

資料作成：2014年11月9日塩狩ヒュッテ

長野政雄さんのお墓「長野政雄之碑」は、旭川市の近文(ちかぶみ)墓地にある。近文墓地は、国道12号線(旭川新道)の北側、旭川鷹栖ICの東側。塩狩から墓地入口(道北バス近文墓地バス停)までは、みちのり30km。墓地入口から長野政雄之碑まで、水平直線距離で256m。座標は、



43.802226, 142.336079。Googleマップでこの座標を指定すると碑の位置が示される。碑は墓地内の37区という区域にある。墓地内にある駐車場入口(地図看板)からは、北東に約70m進み、左手2つ目の通路を左(北西)に曲がり、北西へ約70m、緩い坂を上がる。その坂では、右手で数えて11列目。11列目の手前から2番目が碑。墓石の下は近年の黒い石、上は元の古い石、墓誌も近年の黒い石でできている。北西が正面なので回り込んで正面に立つ。墓誌には次のように刻まれている。



### 長野政雄兄の墓誌

- 1880年7月31日 尾州愛知郡瑞穂村に生まれる。(現在の名古屋市瑞穂区)
- 1898年 鉄道院北海道鉄道部札幌駅に勤務する。
- 1901年 旭川運輸事務所に転勤する。キリスト信仰熱く当教会の役員として労する。
- 1909年2月28日 和寒町塩狩峠にて連結を離れ急勾配を逆走する客車を止めようとして、犠牲の死をとげ多くの乗客の命を救う。常時携帯の遺書があり、「余は感謝して全てを神に捧ぐ 苦楽生死均しく感謝」と記されてあった。
- 1966年 長野兄をモデルとする小説「塩狩峠」を当教会の作家三浦綾子氏が執筆され、多くの感動をよぶ。
- 1969年 塩狩峠に「長野政雄遺徳顕彰碑」が建立される。
- 1998年 旭川市に「三浦綾子記念文学館」が設立される。
- 1999年 塩狩峠に旧三浦宅復元の「塩狩峠記念館」が設立され、関係資料が展示される。
- 2001年5月 教会創立百周年を記念し、当教会ヘルモン会のおよびかけにより、この墓所が整備された。

日本キリスト教団 旭川六条教会